

佐賀空港への陸自ティルト・ローター機の配備について

○ 佐賀空港への配備について

今後のティルト・ローター機の運用に際して、同機の配備先について、九州地方を中心に、部隊運用の実効性強化、日米協力の強化、配備のための十分な地積の確保、市街化が進む既存の自衛隊飛行場周辺の負担軽減など様々な観点から、自衛隊飛行場や民間飛行場を対象に検討を重ねた結果、佐賀空港については、

- ・ 水陸機動連隊が配置される予定の陸上自衛隊相浦駐屯地（長崎県佐世保市）から近く、同部隊の島嶼部等への迅速かつ効率的な輸送に適していること
- ・ 島嶼部への侵攻に対処する水陸両用作戦には、安全保障環境に即した部隊配置と統合運用に基づく陸海空自衛隊の緊密な連携の下、機動的な対処が不可欠であり、同作戦に関わる主要部隊が多く存在する九州北部に所在していること
- ・ ティルト・ローター機の運用に必要な滑走路を有していること
- ・ 周辺に市街地がなく、海に面しているため、騒音などの面で地元住民の方々への負担を最小限に抑制しつつ十分な地積の確保が可能であること
- ・ 市街化が進んでいる陸上自衛隊目達原駐屯地からも近く、同駐屯地に配備されているヘリコプターの移設先としても活用しうること

などの点を総合的に判断し、ティルト・ローター機の配備先として最適の飛行場であると判断しました。

○ 部隊規模

今後、新編される水陸機動団等を支援するティルト・ローター機17機と目達原駐屯地に所在するヘリコプター約50機を念頭

○ 新編時期

地元の御理解・御協力を得たうえで、可能な限り早期に新編したいと考えております。

○ 今後の予定

平成27年度概算要求においては、用地取得及び調査・設計等に係る経費約109億円を計上することとしています。



ティルト・ローター機（イメージ）



佐賀空港と関連施設の位置関係